

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育方法論 The Theory of Teaching Method		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(教職課程必修(栄養士養成課程・栄養教諭))	栄養士養成課程教職課程履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理等の教職課程科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教育原理等の教職課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	火から金曜日の9時から16時(授業時間は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
21世紀の教育目標と教育の方法、これからの学びのプラン・ドゥ・シー・アクション、これからの学びを支える共生のシステム、そしてこれからの学びを支える教師・指導者という4つの題材を手掛かりにして、今日危機的状況の中で問われている教育方法について考究し、子どもが生きる学びの具体的なシステムづくり、更にはその学びを支える新しいネットワークづくりへの基本的な考え方を詳述する。				
授業の目標				
○最適な学びを演出する教育方法、最適な学びを演出する教師の仕事と役割、これからの学びを演出する教育方法等に関する基本的な知識・技術を習得することができるようにする。○これからの学びを支える共生のシステム構築への道筋を定めるための基本的な知識・技術を習得することができるようにする。○これからの学びを支える教師・指導者に求められる、資質、態度、価値観についての基本的な認識をもつことができるようにする。				
授業の方法				
基本的には板書を中心とした講義形式で行う。単元終了時に小テストを行う。レポートの提出を求める。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果(学習成果)				
○学びの演出方法としての教育方法という認識に立って、最適な学びを演出する教育方法と、教師の仕事と役割、そしてそのための課題とは何かについて正しく認識し、教育現場において活用し、実践することができる。○これまでの学びのシステムを客観的にとらえて、これからの学びをどのように構築すべきであるか、その方向性を考究し、提案することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス	授業の概要と進め方について説明		レポートのテーマと提出期限等について説明
第2回目	学びの演習方法としての教育方法	最適な学びを演出する教師の仕事と役割	これからの学びを演習する教育方法の課題	
第3回目	教育の指導性	教科の学習と総合的学習	応答関係の中で育つ学習主体	
第4回目	学びにおける計画・構想とは	自主・共同探究過程としての授業・学びの新たな創出	<小テスト>	
第5回目	授業における「戦争原理」と「正答主義」の癒着	授業実践における「展開」の提起	授業展開の「タクト」をとる	
第6回目	学びを反省・評価する	学びの反省・評価における特質	自己評価の本質	

第7回目	子どもが生きる学びの具体的なシステムづくり	学習主体育成のねらいと意義	学習主体を育てる場と関係性
第8回目	学習主体を育てる授業システムづくり	学習主体を支える学級システムづくり	<小テスト>
第9回目	これからの学びを支える新しいネットワークづくり	情報化社会と社会・共同的学びの構築を求めて	
第10回目	新しい学びの必要性	子どもを取り巻く4つの世界と2つの歴史	学校知と日常知 情報化社会と新しい学び <小テスト>
第11回目	これからの学びを支える教師・指導者	ユネスコ勧告に見える教師の役割と力量	
第12回目	21世紀の教師に求められる資質能力	ジェンダー、「女性」の立場から教師を見つめる	
第13回目	向き合う舞台としての教室	子どもの学習参加と新しい視点	
第14回目	子どもの学習参加と新しい教育方法	試験	
第15回目	子どもの学習参加と現代の教育方法に求められる視点		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明する)
	レポート	20%	詳細に課題を探索し、内容構成もしっかりとしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細は、ガイダンス時に説明する)
	調査報告書		
	小テスト	20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業内容や配布プリントの内容を十分に習得している。
	試験	50%	論述式である。設問に対する要求を満たし、内容構成もきちんとしている。更に、授業内容及び参考書等に記述されている範囲を超え、自分の考え方も示されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書：使用せず 参考図書：「教育の方法」山下正俊他編著 ミネルバ書房 「教育原理」教師養成研究会 学芸図書			
履修上の留意点・ルール			
課題意識をもって授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。			